



# COVER PHOTO

NODA・MAP 第20回公演

## 「逆鱗」

1月29日(金)～3月13日(日) プレイハウス

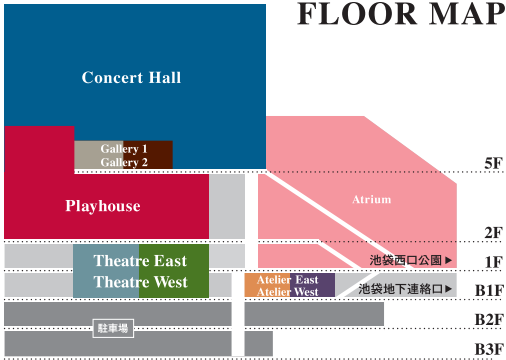
作・演出：野田秀樹

出演：松たか子／瑛太／井上真央／阿部サダヲ／  
池田成志／満島真之介／銀粉蝶／野田秀樹

共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

25th Anniversary

東京芸術劇場



### 1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)  
| 予約 | **0570-010-296**  
| お問合せ | (休館日を除く10:00～19:00)

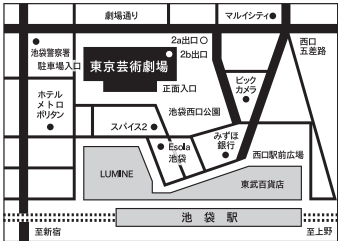
### 5F 託児サービス だっこルーム

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様のお子様をお預かりします。(要予約)

| お問合せ | **03-3981-7003**  
(平日10:00～17:00)

### B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

| 利用料金 | 300円/30分  
| 営業時間 | 7:00～24:00  
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1  
| 開館時間 | 9:00～22:00 (休館日を除く)  
| お問合せ | **03-5391-2111**  
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より  
徒歩2分、池袋駅地下通道の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ vol.14 2016年1・2・3月号

《編集・発行》東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）《編集・デザイン》COM Works 《印刷》（株）技芸堂

平成27年12月25日発行

# 芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.14 2016

1.2.3.



## ★特集・PICKUP

NODA・MAP 第20回公演  
「逆鱗」

## TACT/FESTIVAL 2016

芸劇dance  
平原慎太郎×スズキ拓朗

ハイバイ「夫婦」

芸劇＋トーク  
朗読「東京」

ブロードウェイミュージカル  
「スウィーニー・トッド」

## クラシカル・プレイヤーズ東京

東京芸術劇場コンサートオペラvol.3  
サン＝サーンス／歌劇『サムソンとデリラ』

〈パイプオルガンコンサート特集〉

ランチタイム・パイプオルガンコンサート  
Vol.115 & 116

ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.13

第17回ショパン国際ピアノ・コンクール2015  
入賞者ガラ・コンサート

芸劇ウインド・オーケストラ 第2回演奏会

## 第5回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

芸劇&読響  
0才から聴こう!! 春休みコンサート

リオデジャネイロ写真展／森山大道写真展／  
バレンティン・ファンタジー池袋／  
子どもたちと芸術家の出あう街

## ★CALENDAR

1月・2月・3月

開館25周年インタビュー 野田秀樹  
東京芸術劇場芸術監督

開館25周年記念コンサートレポート

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社  
住友生命保険相互会社  
西池袋熱供給 株式会社  
Bloomberg L.P.

株式会社資生堂  
大和証券株式会社

キッコーマン株式会社  
住友化学株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
明光義塾

株式会社イープラス  
ANAホールディングス株式会社  
株式会社エレベータシステムズ

株式会社奥村組  
オルガノ株式会社  
キヤノン株式会社  
香山壽夫建築研究所  
国際興業株式会社  
三精テクノロジーーズ株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
株式会社ジェイアール東日本ビルディング  
西武鉄道株式会社  
ソニー銀行株式会社  
第一生命保険株式会社  
株式会社帝国ホテル  
株式会社TBSテレビ  
株式会社テレビ朝日  
東京地下鉄株式会社

東京臨海熱供給株式会社  
東武鉄道株式会社  
常磐興業株式会社  
凸版印刷三幸会  
日本生命保険相互会社  
日本テレビ放送網株式会社  
日本郵船株式会社  
びあ株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅  
フジテック株式会社  
株式会社 フジテレビジョン  
HOTEL URBAN(ホテルアーバン)  
ホテルメトロポリタン  
株式会社マクロスジャパン  
株式会社 松田平田設計

株式会社 松村電機製作所  
丸茂電機株式会社  
三菱重工業株式会社  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
ミュージックスタジオ・フォルテ  
ヤマハサウンドシステム株式会社  
養老乃瀧株式会社  
読売新聞東京本社  
立教大学  
株式会社ルミネ 池袋店  
レンゴー株式会社  
株式会社ローソンHMVエンタテインメント  
株式会社 WOWOW  
渡邊建設株式会社

2015年12月1日現在 (五十音順)

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117



# 逆鱗

げき  
りん



## 選び抜かれた俳優達の競演が始まる。

リアルではない設定を、観る人にリアルにイメージさせる。

それができる俳優達がたっぷり揃った新作は、人魚伝説がモチーフ。

架空の生物を出発点に野田秀樹は何を問う？

### 野田作品が俳優を選ぶ理由

すべての俳優はふたつに分けられる。野田秀樹の舞台に立てる人と、そうでない人に。

「野田秀樹」の部分に、別の演劇人の名前を入れてもこの構文は完成する。でももちろん、どんな人物でもいいわけではない。星の数ほどいる中で、ほんのひとにぎりの劇作家、演出家だけが俳優に、その劇世界に入って初めて見ることのできる果てしない風景、本人が知らなかった身体感覚を引き出す言葉、全体を俯瞰し続ける冷静さと一点集中の高揚感を同時に感じること、共演者との一体感といった特別なものを与えることができる。

と同時に、野田の舞台に参加したすべての人がその効果を充分に享受できるとは限らない。なぜなら野田作品は、時間や空間をダイナミックに飛び、その離陸や着陸のタイミングは非常に感覚的であるため、手引書を読んでそれに従えばできるようになるタイプの演技ではないからだ。リアルではない設定を、リアルなものとして観客にイメージさせる力は、どんな俳優にでも備わっているものではない。もともと持っているが、覚醒するか、実践のうちに手に入れるか、ケースはいくつか考えられるものの、野田の舞台に立つには、戯曲のポテンシャルを瞬時に把握する直感、インプットとアウトプットのきわめてなめらかな回路、受け取ったものを瞬間的に発酵させる器と、それを惜しまず出す胆力が必要なのだ。

だから厳密に言うなら、最初の一文は「すべての俳優はふたつに分けられる。野田秀樹の舞台にきちんと立てる人と、そうでない人に。」とするのが正しいのだが、ではどうすれば、その区別がつけられるのだろう。観客の立場からすれば、できれば「きちんと立てる人」が多くキャスティングされた作品を観たいと考えるのが普通だと思う。

### お墨付き揃いの豪華キャスト

実はそのジャッジがとても簡単にできる方法がある。それは、各俳優がNODA・MAPへの複数回の出演経験があるかどうかで判断すればいい。NODA・MAPは基本的に、公演とは直接関係のないワークショップで、まず俳優が野田と出会うことが多いので、稽古で初めてお互いを知るケースは少ない。それでも稽古と公演の数カ月で、ぐんぐん伸びる俳優や、本番の舞台に立って突然化ける俳優、何度やっても飽きない俳優もいて、そうした中から「野田の舞台にきちんと立てる人」が残っていく。そうしたプラスアルファのある人が、幸運にもスケジュールが合うと、NODA・MAPに再出演、あるいは何度目かの出演となるわけだ。

その点で『逆鱗』は、ほとんどのキャストが野田作品の経験組という贅沢な座組が実現した。さらにすごいのが、その顔ぶれである。まず、松たか子が7年振りに帰ってくることを喜びたい。これまで『オイル』(03年)、『贗作 罪と

罰』(05年)、『パイパー』(09年)と3作のいずれもで、松が立ち上げたものは素晴らしく大きかった。やわらかで理知的でよく通る声で、どんなに理屈に合わないせりふも、逆にロジカルなせりふも、観客の中に鮮やかなイメージを広げることができる。最初の一文に戻るなら、松は、蜷川幸雄や岩松了ら、野田同様に俳優を厳しく選ぶ現代の日本の演出家すべての作品でヒロインを演じており、そんな才能は他にない。

そして瑛太と井上真央は、3年前の『MIWA』でNODA・MAPに初参加したふたりだが、どちらも見巧者をうならせた。美輪明宏氏の半生を縦軸に、第二次大戦からの日本の復興、芸術家と周辺の人々、少数派の矜持、宗教などの問題を色鮮やかに絡ませた同作で、瑛太は、物語に踊らずしっかりした軸を内面に持ち続けて宮沢りえ演じる主人公を受け止め、また井上は、瞬間的に変わるストーリーの波頭を次々と捉えて乗りこなし、上演では語られない時間を彼女の身体の中に宿らせていた。どんなに映像でいい演技を見せても舞台では光らない俳優もいる中で、ふたりは「どちらもできる」俳優であることを証明したのだ。

また、これもうれしいことに「野田作品の阿部サダヲ」が12年ぶりに見られることになった。『ローリング・ストーン』(98年)、『透明人間の蒸気』(04年、新国立劇場主催公演)と出演本数は少ないが、特に『透明人間〜』で見せた阿部の演技は、多くの人にあの舞台を忘れられないものにし、野田作品と阿部の相性の良さを強く印象づけた。軽やかゆえに深いところまで斬り込み、観客が気付いた時には、心の奥底に傷跡をつけられているのが阿部なのだ。その姿がまた見られるのは期待しか湧いてこない。

だが、気心の知れた安全パイばかりではつまらない。予定調和を好むなら、舞台などつくらなくても、また、観なくてもいい。ここに新鋭・満島真之介が絡むのが、期待値を一気に押し上げる。映像でも幅広く活躍する満島だが、舞台でも2010年の『おそろべき親たち』を皮切りに着々と経験を積み重ね、特に『祈りと怪物〜ウィルヴィルの三姉妹〜』(13年)、『火のようにさみしい姉がいて』(14年)、『ハムレット』(15年)と毎年、蜷川幸雄から声がかかるなど

実力を蓄えている。いわば満を持してのNODA・MAP初参加で、どんな活躍をするか注目したい。

ここに、百戦錬磨のベテランで、野田が心から頼りにする銀粉蝶と池田成志が加わって、作品にメリハリを効かせながら屋台骨を支えていく。さらに忘れてはならないのが、野田が時間をかけ、着々と強化を図っているおなじみのアンサンブルチーム。昨年、パリのシャイヨー劇場で上演され、絶賛を集めた『エッグ』で現地の評論家から高く評価された実力が、今回もいかに発揮されることだろう。そしてもちろん、NODA・MAPに出演する俳優全員が口を揃えて、開演前は「共演したかった」、開演してからは「驚いた」と話す俳優・野田秀樹の活躍も、楽しみだ。

### 人魚の謎を入り口に、遠くへ

『逆鱗』は、人魚にまつわる伝説が大事なモチーフになるという。言語や文化が異なっても、なぜか世界中に存在する半人半魚の生き物をめぐる話。有名なのは、人魚が恋に殉じるというアンデルセンが童話にした物語だが、その歌声に心を奪われた人間が海に引き込まれて命を落とすというセイレーンの伝説も存在する。また日本にも古来から、人魚の肉を食べたものは不老不死の命を得るという伝説がある。古くから存在する物語と、最先端の科学技術、歴史上の出来事や実在の人物を、錬金術のようにつなぎ合わせるのは野田の得意技。今回もきっと、華やかな出演者、めくるめくストーリーに目を奪われるうち、あっという間に人類全体サイズの闇をのぞき、はたまた、光を浴び、宿題を持ち帰ることになると予想される。

しかしそれは、演劇でしか得られない体験だ。劇作家の妄想と俳優の声と肉体を借りて、観客は自分だけの過去や未来を観る。この格別な体験をどうか逃さないでほしい。

文：徳永京子



1月29日(金)～3月13日(日) プレイハウス

詳細はP12、13、15へ

作・演出：野田秀樹 出演：松たか子／瑛太／井上真央／阿部サダヲ／池田成志／満島真之介／銀粉蝶／野田秀樹



※大阪、北九州公演あり

〔東京公演〕主催：NODA・MAP  
共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)





芸劇dance「平原慎太郎×スズキ拓朗 ダブルダブルダンス」公演

1月9日(土)～10日(日) シアターイースト

詳細はP11へ

まるで「ガラスの仮面」のマヤとアユミ。

たとえばビートルズとストーンズ。たとえばオアシスとブラー。たとえば長嶋と王。

2つの超新星が登場する時、シーンは変わります。20世紀末に黄金期を迎えた日本コンテンポラリーダンスシーン。あの頃は2つどころか幾つものダンスカンパニーが煌星のごとく登場し、舞台業界に旋風を巻き起こしました。僕がプロデュースする近藤良平主宰のコンドルズが活動を始めたのもその時期です。

しかし、あれから約20年、コンテンポラリーダンスの歩みは順風満帆ではありませんでした。あまたのダンスカンパニーが解散、活動休止、縮小。その退却戦の中で僕たちコンドルズはなんとか孤軍奮闘、悪戦苦闘を続け、破格の観客動員を維持してきました。日本コンテンポラリーダンス界の2度目の黄金期を夢見つつ、待ち焦がれつつ。しかし、その時は遂にやってきたのです。

平原慎太郎、スズキ拓朗という2つの超新星が颯爽と登場したのです。平原慎太郎。この男は圧倒的な身体能力と経験値、確固たるメッセージ性を宿した芸術性の高い作風が醍醐味。スズキ拓朗。この男は破天荒なアイデアとダイナミックな演出を魅力とする大衆性が高い作風が大評判。まるで「ガラスの仮面」のマヤとアユミ。全くタイプが違う2人。そんな2人が同時期に頭角を現したのは奇跡。と同時に啓示です。「シーンが変わる」という啓示。

だからといって、かつてのような黄金期はやって来ないかもしれません。日本コンテンポラリーダンスの現状を冷静に判断すれば、決して勝ち目の大きい闘いではありません。しかし、それでも2人は、次世代のシーンを創り上げるための挑戦をいとわないでしょう。なぜなら、2人はタイプは違いますが、全く同じ信念をたった1つ、胸に宿しているからです。「コンテンポラリーダンスは絶対に面白い」そんな極めてシンプルでタフな信念を宿しているからです。

皆様ぜひとも、この愚直とも呼べる尊い情熱を燃やす2人の男を見に来ていただけないでしょうか。この世界に、これほど純度の高いモノは滅多にないのですから。

文：勝山康晴(コンドルズプロデューサー)

構成・振付：平原慎太郎／スズキ拓朗 出演：平原慎太郎／スズキ拓朗／柿崎麻莉子／清水ゆり

主催：ROCKSTAR

提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

ハイバイ「夫婦」

1月24日(日)～2月4日(木) シアターイースト

詳細はP12・13へ

実父の死を取材した岩井秀人が人生の仕舞い方を描く最新作。

自らの実体験や綿密な聞き取り取材に基づき、現代人の生き様をユーモラス且つヴィヴィッドに描く岩井秀人。2012年に向田邦子賞、2013年に岸田國士戯曲賞を受賞し、その動向が注目される気鋭の劇作家・演出家が、自身のホームグラウンドである劇団「ハイバイ」に、待望の最新作『夫婦』を書き下ろす。

引きこもり、家族間関係、不倫愛など、他人との距離感やコミュニケーションの在り方について鋭い嗅覚を働かせ、そこから「一筋縄ではいかない現代社会のやり切れないさ」を鮮やかに浮かび上がらせてきたハイバイが、最新作のテーマに選んだのは「人生の仕舞い方」だ。2014年10月に実父との死別を経験した岩井が、命あるものにとって避けることの出来ない死という問題に改めて向き合う。ハイバイ作品に馴染みのある方には周知の事実だが、劇団の代表作である『て』に登場する父親は、この実父がモデル。同作では、傲慢無礼な性格をことさら強調した父親像を中心に、複雑な親子間、兄弟間、そして夫婦間関係を描いた。2016年1月～2月に上演を控えた最新作は、この夫婦の半生にスポットを当て、その成り立ちから死別による崩壊までをしっかりと見つめた一作となる。

モデルとなっている実父の死因は癌であり、最新鋭の手術を受けたにも関わらず、医療ミスのような形でこの世を去った。しかも実父は外科医だったという。日本人の死因率上位をしめるこの病気と、それにまつわる医療の数々。見送る者、見送られる者、その者の数だけ無念さが残る。決して他人事として片付けられない物語になるのは、もはや間違いない。

私たちは、時として血縁という価値を疑いたくなくなってしまいう程、多様化された社会システムの中に生きている。しかし、心のどこかでその強固な繋がりを大切にしているのも紛れもない事実である。その血縁というものを生み出す大本でありながら、他人同士の繋がりである「夫婦」という単位をモチーフに、ハイバイがどのようなリアルをあぶり出すかは必見だ。

文：園田喬し(演劇ライター／『BITE』編集長)

作・演出：岩井秀人 出演：山内圭哉／岩井秀人／平原テツ／川面千晶／鄭 亜美／田村健太郎／高橋周平／猪股俊明／菅原永二

主催：Quinada／ハイバイ

提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



ACT FESTIVAL 2016

楽しくってマジカルな、  
カラダの魔法が  
あふれ出す！



いま最も面白い「サーカス×ダンス」！ 大人から子どもまで、  
ビックリそして笑っちゃう、不思議なパフォーマンスたちがやってくる！

予想のつかない、4つの魔法がかかった舞台

いま最新のサーカスは、ダンスの分野で花開いている。

ダンス的な高い芸術性で、サーカスやジャグリングが持つ驚異的な動きを様々なに活かしながら見せていく……そんな舞台が増えているのである。「大人も子供も楽しめて、しかも芸術的な充足感のある舞台」というわけだ。

これは世界的に見ても大きな流れになっていて「アート・サーカス」とか「コンテンポラリー・サーカス」などと呼ばれている。そうした世界の最先端をピックアップして毎年紹介し、家族全員で楽しめると評判なのが、このTACT/FESTIVALだ。

これまでも多くの摩訶不思議な舞台を紹介してきたが、今回は4つの作品をお届けしよう。

ソラス・デ・ヴェント『空飛ぶ男たち』。ブラジル人とフランス人の男性二人が演じる舞台は、現代の空港だ。入国審査で止められた二人がスーツケースを抱えて空港で過ごす…… しかしそのほとんどは、空中にいるのである。ハンモックやらロープやら、あれこれ駆使してどんどん居心地が良くなってしまふ。言葉のない空中パフォーマンスなのだが、アクロバットではない。これはまるで、二人が遭遇している「宙ふらりんな状態」を象徴しているかのようだ。初めは反目している二人だが、同じ苦難を共有していくうち、次第に心が通い合う。動きの楽しさばかりでなく、芝居を一本見たような満足感の高い作品である。

ソラス・デ・ヴェント「空飛ぶ男たち」 シアターイースト  
カンパニー・レ・ギューム「ストイック」 シアターウエスト  
カンパニー・ドゥッシュドゥッスウ「Linea - ダンシングロープ!」 シアターウエスト

料金：【全席指定】大人2,000円 子ども(高校生以下)1,000円

<3演目セット券>大人4,800円 子ども1,800円

<2演目セット券>大人3,500円 子ども1,500円

一般発売:3月5日(土) 予定

劇団コープス

「ひつじ」「キャンプしましょう! おひめさま」 ロワー広場 【観劇無料】

カンパニー・レ・ギューム『ストイック』。これは何とも不思議な味わいの作品。大きな男と小さな女のデュオなのだが、男が手を広げると女がその脇の下をスタスタ歩けてしまうほどの身長差がある。鞆、椅子や机といったシンプルな舞台ながら、それらを様々なに組み合わせたり歌ったりと変化に富んでいる。二人の織りなすコミカルな身体的やり取りが、どうにも愛らしく、幸せな時間が流れる。

カンパニー・ドゥッシュドゥッスウ「Linea - ダンシングロープ!」。これには驚かされた。使うのはロープのみ。といっても綱渡りとかよじ登るといった使い方ではなく、「ロープが主役」といっていい存在感なのである。ロープを速く動かすと、しなり、くねる。輪にしたり、固めたり、まるで生きているかのような、じつに多彩な表情を見せるのだ。それを男女のアーティストが変幻自在に操る。手品のような不思議な展開もあり「ロープって、こんなにできる子だったの!？」と認識をあらためること必至の舞台である。

そしていまやTACT/FESTIVAL名物、といっても過言ではない『ひつじ』が今年もやってくる。あまりにもリアル、あまりにも無愛想なひつじたち。なにをするかという、これといって何もしない。ただそこには「ひつじの日常」があるだけだ。メエエと鳴き、歩き回り、何かを食い、何かを排泄する。一切の媚びのないその姿に、かえって惹かれてしまうこの気持ちにはなに!? という思いを胸に、今年も会いにいこうじゃないか！

文：乗越たかお(作家／ヤサぐれ舞踊評論家)

TACT／FESTIVAL 2016 スケジュール			
	シアターイースト	シアターウエスト	ロワー広場
5月5日(木・祝)	[A] 13:30	[B] 16:00／[C] 18:00	14:45(ひつじ)
5月6日(金)	[A] 13:30	[B] 11:00／[C] 16:00	14:45(ひつじ)
5月7日(土)	[A] 13:30	[C] 11:00／[B] 16:00	14:45(おひめさま)
5月8日(日)	[A] 13:30	[C] 11:00／[B] 16:00	14:45(おひめさま)

[A]=「空飛ぶ男たち」 [B]=「ストイック」 [C]=「Linea」

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



©平松 享



## 芸劇+トーク 朗読「東京」第四回

2月19日(金)～21日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



東京を読み、東京を語る。  
人気企画の第4弾。

## 松村 武×眞鍋卓嗣×喜安浩平

(カムカムミニキーナ)

(俳優座)

(ナイロン100℃/ブルドッキングヘッドロック)

“東京”が描かれた小説・戯曲を二人の俳優が朗読する第一部と、出演者らが“東京”について語るトークの2部構成でお送りするリーディング企画。各作品を担当する演出家たちが、観客を楽しめるために工夫を凝らす演出も見どころのひとつ。2015年1月に行われた第3回では、若手演出家・山本卓卓(範田遊泳)が自身の得意とする映像・照明・音楽を駆使した手法で、長く親しまれた純文学や古典落語を新しい切り口で魅せた。第4

回にあたる今回は、松村武(カムカムミニキーナ)、眞鍋卓嗣(俳優座)、喜安浩平(ナイロン100℃/ブルドッキングヘッドロック)、同じ70年代生まれの演出家ながら、それぞれの作風で活躍する3人が思い入れのある「東京」にまつわる作品に挑む。朗読作品、出演者は1月に発表予定。ご期待ください。

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都/アーツカウンシル東京/豊島区

## ブロードウェイミュージカル「スウィーニー・トッド」

4月14日(木)～5月8日(日) プレイハウス

詳細はHPへ



## 最強のトライアングルが奏でる至極のミュージカル。

日本の演劇界最大のビッグネーム、市村正親、大竹しのぶ、宮本亜門が、再び顔を合わせる。現代ミュージカルの巨星ステューヴン・ソンドハイムの代表作「スウィーニー・トッド」。トニー賞をはじめ数々の賞を総なめにした斬新な感動作に、共演として武田真治、芳本美代子、田代万里生、唯月ふうか、斉藤暁、安崎求という超個性派キャストが集結。ティム・パートン、ジョニー・デップの名コンビでも映画化。18世紀のロンドンに実在したという恐怖の理髪師の痛快で哀しい復讐の物語。パイ屋のお茶目なおかみミセス・ラヴェットと手を組み、理髪師としての腕を生かして、彼が考え出した大胆で奇想天外な復讐の方法とは・・・?

世界が戦火と報復テロに脅かされ、国内でも猟奇的な事件が多発する今、この作品の送るメッセージは私たちの心に深く熱く突き刺さる。

演出・振付：宮本亜門

出演：市村正親 大竹しのぶ／芳本美代子／田代万里生 唯月ふうか／安崎 求 斉藤 暁／武田真治 ほか

主催：フジテレビジョン/ホリプロ  
共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

## COMING UP NEXT 2016.4-7

## 2016.4-7 演劇・ダンス ラインナップ

## モダンスイマーズ 新作公演 作・演出：蓬莱竜太

4月22日(金)～5月3日(火・祝) シアターイースト

## eyes plus 木ノ下歌舞伎 監修・補綴：木ノ下裕一

6月上旬 シアターイースト

## 芸劇eyes 中野成樹+フランケンス

## 「えんげきは今日もドラマをライブする vol.1」

6月18日(土)～26日(日) シアターイースト

## eyes plus □□ 脚本・演出：三浦直之

5月下旬 シアターイースト

## 「887」 作・演出：ロベール・ルパージュ

6月中旬 プレイハウス

## 芸劇dance 束芋×森下真樹

## 映像芝居「錆からでた実」

構成・演出：束芋

7月上旬 シアターイースト

一般発売：4月23日(土)

## クラシカル・プレイヤーズ東京

## Interview 上原彩子(ピアニスト)

ラフマニノフの  
スペシャリストが古楽器!?

有田正広が率いるクラシカル・プレイヤーズ東京(CPT)の

2016年は、2つの貴重な公演で幕をあける。

ここだけの独奏者、ここだけの楽器がコンサート

華やかに彩る。



## く 奇すしき縁が上原彩子とCPTとを結ぶ

11月の室内楽公演では、しやれた次回予告が行われた。フルートの有田正広が吹く《お気に入りの主題と変奏》。ミューラーが1800年頃に編んだ作品だ。「お気に入りの主題」とは、モーツァルトの《ピアノ協奏曲 第17番》第3楽章のテーマ。飼っていたムクドリの子を模したというメロディーは、とても親しみやすい。この洒落た変奏曲は、次のオーケストラ公演を先取りしたもの。この日会場にいた聴衆への贅沢な予告編と言える。

コンサートホールで行われる2月の演奏会のプログラムには、メンデルスゾーン《フィンガルの洞窟》序曲と交響曲第3番《スコットランド》とが並び、その間にモーツァルトの《ピアノ協奏曲 第17番》が挟まれる。有田がフルートで予告した曲だ。19世紀ロマン派へのレパートリー拡張だけでなく、コンサートマスターに豊嶋泰嗣を迎えるなど、意外な音楽家とのコラボレーションでも話題を振りまくCPT。今回はピアニストの上原彩子と共演する。「これまでロシアものを中心に演奏してきました」と話す上原。なぜ「フォルテピアノでモーツァルト」を弾くことになったのか。

「集中的にラフマニノフを演奏していたころ、作品の音の多さに圧倒されて、大事なところが見えない時期がありました。モーツァルトはシンプルな分、基本が大切だし、そこがよく見える作曲家。取り組んでみようと思いました。どう楽譜を読んだらよいのかわからなくて。そこで、古楽器にアプローチしてヒントを得ようと思ったんです。」

フォルテピアノの奏法はもちろんのこと、曲の組み立て方、楽譜の読み方や

室内楽演奏会シリーズvol.6 詳細はHPへ  
カルテット+!

1月23日(土) 15:00開演 シンフォニースペース

クラシカル・プレイヤーズ東京メンバー

クラシカルオーボエ：三宮正満

ヴァイオリン：木村理恵、荒木優子

ヴィオラ：成田 寛 チェロ：山本 徹

モーツァルト／オーボエ五重奏曲 ハ短調 K.406

ハイドン／ホルンイングリッシュ四重奏曲 長八調 ほか



主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

## 東京芸術劇場Presents 詳細はP13へ

## クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

2月6日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮：有田正広 フォルテピアノ：上原彩子

管弦楽：クラシカル・プレイヤーズ東京

ソロ・コンサートマスター：豊嶋泰嗣

メンデルスゾーン／序曲「フィンガルの洞窟」op.26

モーツァルト／ピアノ協奏曲第17番 ト長調 K.453

メンデルスゾーン／交響曲第3番 イ短調「スコットランド」op.56

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



考え方を勉強した。「現代の奏法とはかなり違っていて、それが本当に面白かった。」と上原は言う。18世紀のスタイルはなるべく守りつつ、生きている音楽としてモーツァルトを表現する。そこに演奏の楽しさを見出した。その経験が今回の協奏曲で実を結ぶ。

上原は以前、第17番を演奏したことがあるという。「その時の指揮はクリストファー・ホグウッドさん。とても楽しいモーツァルトでした。」今回のメンデルスゾーン2曲は、そのホグウッドの校訂版。演奏会全体が奇すしき縁で結ばれている。

## 緊密な空間で行われる“室内楽”シリーズも

管弦楽公演の2週間前には、室内楽の演奏会も用意されている。オーケストラのメンバーによるアンサンブルも、もう6回目。このたびは弦楽四重奏にオーボエを加えた編成を中心に、M.ハイドンやモーツァルトの曲を披露する。三宮正満がオーボエだけでなく、同族楽器のホルンイングレーゼも吹く。英語で言えばイングリッシュホルン。オーボエよりも音域が低い。19世紀の音楽家がその独特の音色に注目し、作品の中で盛んに用いるようになるが、18世紀の後半にはすでに、その個性は認められていた。そのころの楽曲を、当時のスタイルのホルンイングレーゼで聴ける貴重な機会。会場となるシンフォニースペースの座席はわずか80。決断は早い方がよさそうだ。

取材・文：澤谷夏樹(音楽評論家)



## サン＝サーンス／歌劇『サムソンとデリラ』

## Samson et Dalila

フランス語全3幕＊演奏会形式（日本語字幕つき）

CAMILLE SAINT-SAËNS “SAMSON ET DALILA” EN 3 ACTES VERSION CONCERT

## Interview 佐藤正浩（指揮者）

国内外から実力派歌手を揃えて実現する『サムソンとデリラ』。フランス・オペラの醍醐味とサン＝サーンスの音楽をじっくり味わえる貴重な公演。その魅力を、佐藤正浩が語る。

## オーケストラがドラマを語る色彩豊かな楽曲

2013年にバルトークの＜青ひげ公の城＞でスタートした芸劇コンサートオペラ。第2弾は日本初となるフランス語5幕版による＜ドン・カルロス＞が上演され、日本のオペラ界に大きな衝撃を与えた。その公演を指揮した佐藤正浩が、2016年2月に再び話題作に挑戦する。日本では上演の機会が極めて少ない＜サムソンとデリラ＞だ。

「＜ドン・カルロス＞は、1996年にパリのシャトレ座で上演されたフランス語5幕版を見て、ヴェルディが書きたかったのはこういう音楽だったのだと、曲を再発見し、以来、いつか日本で上演したいと思っていたのがこの劇場で実現しました。次の演目を考えたとき、このシリーズではなかなか舞台では実現が難しい作品をやったらいいのではないかと、1回のみ公演だし、予算は限られる。でも他の劇場では見ることが難しい珍しい作品を上演したいと思いました。

＜サムソンとデリラ＞は、3幕に出てくるバッカナーレが有名だし、デリラが歌う＜あなたの御声がわが心は開く＞という妖艶なアリアもある。オーケストラの色彩が豊かで、管弦楽の魅力を充分に聴ける曲。それ以外にもアンサンブルや合唱の魅力もある。フランスらしい響きとドラマティックな部分がみごとに書き分けられていて、オーケストラがドラマを語っている。管弦楽と合唱とソリストの対話がとても上手く書かれた曲です。それに、いつもどんでん返しのある音楽なので、すさまじい浮き沈みのあるドラマを堪能していただけると思います」

## 理想のサムソン、芳醇な声と美貌のデリラ

この曲の上演が少ないのは、主役のサムソンは輝かしく力強い声のテノールが求められ、デリラもまた魅惑的な声に加え、美しい容姿も必要とされる難役だからだ。理想的な主役歌手二人を揃えるのは至難のわざだが、今回は声だけでなく容姿も揃った実力派歌手が集められた。

「サムソンを歌うロザリオ・ラ・スピナと、デリラを歌うミリヤーナ・ニコリッチはご夫婦で、ぼくがお願いして出ていただきます。ロザリオは2012年11月から翌年2月にかけて5都市共同制作公演でやった＜カルメン＞で、ド

ン・ホセを歌ったテノールです。金沢と福井はぼくが指揮して、彼とは一緒に音楽を作りあげていったので、彼の声とか作品に対する真摯な姿勢をよく知っています。立派な体格なので、彼なら力強い英雄のサムソンにぴったり。ぼくの理想のサムソン像を具現化してくれると思います。デリラ役のニコリッチにはストーリーがあるんです。じつは4年前の＜カルメン＞は、お二人で歌う予定だった。それで宣伝を兼ねて、公演の半年前に来日し、ラ・フォル・ジュルネでリサイタルをしたんです、ぼくがピアノを弾いて。とても豊醇な声で容姿も美しい。すでにメトロポリタン歌劇場でカルメンを歌っている実力派のメゾ・ソプラノです。でもその後妊娠して、日本でカルメンは歌えなかった。ですから、来年は待望の来日です。デリラを歌うにはすばらしく妖艶で、しかも毒もないといけない。彼女は両方持ち合わせている歌手です」

今回の公演では日本からも名人級の歌手たちが集められた。オーケストラや合唱団も、佐藤正浩がこだわりぬいたメンバーが集結する。

「老ヘブライ人役の妻屋秀和さんは、独特な深い響きと説得力ある安定した歌唱のパス。混乱のなかで、ポツと光を与えるようなゆったりした歌が要求される、存在感のある役にはぴったりです。大司祭役の甲斐栄次郎さんはウィーン国立歌劇場で長年キャリアを積まれた方ですので、キャラクター表現にも秀でている。輝きのある響きをもったバリトンです。

この曲はまるでオラトリオのように合唱がとても重要。武蔵野音大の合唱団は＜ドン・カルロス＞でも素晴らしい演奏をしてくれたので、今回も無理をいってお願いしました。オーケストラは10年ほど前に、オペラの演奏をするために、オペラ好きのメンバーに集まってもらって結成した、ザ・オペラ・バンド。普段はN響や読響で弾いている方たちです」

## 伝統的なオペラ指揮者の道を通して

日本のオペラ界で、近年急激に頭角を現してきた佐藤正浩。日本では数少ないオペラの専門指揮者として、重要なシーンには欠かせないマエストロである。ヨーロッパでオペラ指揮者を目指すには、オペラ・ハウスで研鑽を積むのが伝統的な方法。カラヤンやクライバーもその道を通った。

「ぼくの場合は指揮といってもオペラに特化している。もちろんシンフォニーもやりますが、でもオペラは時間がかかる。1つの公演をやるのに、1ヶ月



佐藤正浩

ロザリオ・ラ・スピナ

ミリヤーナ・ニコリッチ

ジョン・ハオ

小笠原一規

や2ヶ月はその公演にかかりきることになりますから大変です。ぼくはもともと、指揮者を目指したわけではないんです。音大の音楽科を出たので、歌手の勉強をしていました。その後、海外に出てコレパティオーア（歌手のトレーニングやリハーサルをピアノを弾いて指導。略してコレパティ）として指揮者のもとで振り方を見ながらピアノを弾くうちに、自分でもやってみようという思いが強くなった。まずサンフランシスコ歌劇場でコレパティとして仕事をし、ヨーロッパに出たかったので、リヨン歌劇場のオーディションを受けた。その頃セント・ナガノが音楽監督で、リヨンの歌劇場は武満徹さんに新作オペラを委嘱していた。そんな時期だったので、日本語ができるぼくが採用されたのだと思います。でも武満さんはオペラが完成する前に亡くなってしまわれたのですが、リヨンのあとは、シャトレ座でコレパティをやっていたのですが、自然に指揮の方へと移行することになりました。結果としてそれがヨーロッパの伝統的な指揮者になるコースだったんですが、最初から日本で指揮者になろうと思ったら、こういう道は通らなかったと思います」

佐藤正浩が得意とするのは、フランス・オペラ。日本ではイタリア・オペラやドイツ・オペラに比べて、演奏される機会が少ないジャンルだ。

「オペラのドラマを組み立てていくのは、言葉だと思うので、自分にとってはフランス語が一番自然。フランス・オペラはまだ日本で上演される機会が少ない作品が多いので、もっと指揮したい。マスネ、プーランク、さらにフランス語ということでプロコフィエフの＜3つのオレンジへの恋＞、また＜アッシジの聖フランチェスコ＞なども上演してみたいです」

シリーズはコンサートオペラと銘打っているが、今回の公演では演出の要素も少し付け加えてみたいという。

「演奏会形式ですので、まず歌がしっかりしていないと。見せる要素はないので、素材でせめていかないといけない。でもそれだけ音楽に集中して聴くことができるのが利点です。ドラマが激しいオペラなので、音の渦のなかに

2月20日（土）15:00開演 コンサートホール 詳細はP14へ

指揮：佐藤正浩  
サムソン：ロザリオ・ラ・スピナ デリラ：ミリヤーナ・ニコリッチ  
大司祭：甲斐栄次郎 アビメレク：ジョン・ハオ 老ヘブライ人：妻屋秀和  
伝令：小笠原一規 ペリシテ人1：鈴木俊介  
ペリシテ人2：井出壮志朗 管弦楽：ザ・オペラ・バンド  
コーラス：武蔵野音楽大学 合唱指導：横山修司

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



取材・文：石戸谷結子（音楽評論家）



## 第17回ショパン国際ピアノ・コンクール2015 入賞者ガラ・コンサート

1月28日(木)～29日(金) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP12へ



チョ・ソンジン



シャルル・リシャール＝アムラン



ケイト・リウ

## ショパン・コンクール入賞者たちが総登場。

今回も多くの若い音楽家たちが栄冠に挑戦し、世界中の聴衆とフォロワーを魅了した『第17回ショパン国際ピアノ・コンクール』。第1位に輝いたチョ・ソンジンをはじめ、第6位までの入賞者が全員揃ったコンサートは、指揮者とオーケストラも含め、まさにショパコンの引越越し公演。ワルシャワの興奮を味わえるチャンスだ。

指揮：ヤツェク・カスプシツク

管弦楽：ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 ほか

ピアノ：チョ・ソンジン（第1位&amp;ポロネーズ賞同時受賞）／シャルル・リシャール＝アムラン（第2位&amp;ソナタ賞同時受賞）／

ケイト・リウ（第3位&amp;マズルカ賞同時受賞）／エリック・ルー（第4位）／イーケ・トニー・ヤン（第5位）／ドミトリー・シシキン（第6位）

28日

ショパン／アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22（オーケストラ付）  
ピアノソナタ 第3番 ロ短調 Op.58、ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11 ほか

29日

ショパン／ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11、ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21  
ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53「英雄」 ほか

主催：ジャパン・アーツ

提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 芸劇ウインド・オーケストラ 第2回演奏会

3月12日(土) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP15へ



秋山和慶

## 今や「芸劇の顔」となった若き才能たち。

将来ある若い音楽家たちをアカデミー生として育成する事業である「芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー」。すでに開館25周年記念コンサート『ジョワ・ド・ヴィーヴル』ほかで活躍している彼らの、この1年の集大成となる第2回目のコンサート。委嘱新作では、吹奏楽シーンでおなじみの作曲家である長生淳氏の作品も披露される。芸劇が誇る音楽家たちを応援したくなる名演に期待したい。

指揮：秋山和慶 吹奏楽：芸劇ウインド・オーケストラ

パレス（建部知弘編）／序曲「リシルド」 リード／アルメニアン・ダンス パート1

長生 淳／委嘱作品（世界初演） ヒンデミット／吹奏楽のための交響曲 変口調 ほか

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 東京芸術劇場&amp;ミュゼザ川崎シンフォニーホール共同企画 第5回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

3月26日(土) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP16へ



尾高忠明

©青柳 聡

## 9音楽大学選抜のスーパー音大生オーケストラ。

東京芸術劇場とミュゼザ川崎シンフォニーホールの共同企画であり、首都圏の各音楽大学によるオーケストラが競演する「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」。スペシャル企画の選抜オケ演奏会も5回目となる。関西でも開催された同様のコンサートで指揮をするなど、若い世代の育成に情熱を傾けている尾高忠明が芸劇の指揮台へ登場し、一期一会の名演を実現する。

指揮：尾高忠明 管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ

チャイコフスキー／交響曲第5番 ホ短調 Op.64 ショスタコーヴィチ／交響曲第5番 二短調 Op.47

首都圏9音楽大学選抜オーケストラ

上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学

主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会／ミュゼザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）／東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 芸劇&amp;読響 0才から聴こう!! 春休みコンサート “春が来た! キラキラわくわくオーケストラ”

3月30日(水)【1回目】11:30開演／【2回目】13:30開演 コンサートホール

詳細はP16へ

## お子様と一緒に楽しむクラシックの名曲。

毎日をお子様と楽しく過ごす中、でもちょっと息抜きもしたいと思っているママ、パパたちに名曲のプレゼント。0才児から一緒に、迫力のあるオーケストラの演奏を楽しめるという貴重なコンサートが、春の兆しを感じる3月30日に開催される。お子様が音楽に目覚めるきっかけになるという期待も。年齢に関係なくご家族と一緒にどうぞ。

指揮：梅田俊明 ナビゲーター：中井美穂

ヴァイオリン：二瓶真悠（第8回東京音楽コンクール 弦楽部門第1位） 管弦楽：読売日本交響楽団

ビゼー／『カルメン』前奏曲 サラサーテ／ツィゴネルワイゼン

ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」 ほか

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

事業提携：読売日本交響楽団

P10／文：オヤマダアツシ

パイプオルガンコンサート特集  
からだ共鳴する、  
オルガン音楽の響き。

巨大なパイプオルガンの生演奏を聴くことは、  
全身で音楽を受けとめる体験に他ならない。  
バロックから現代のレパートリーまで、  
注目の公演をご紹介します。

リアのオルガン音楽の巨匠であるロレンツォ・ギエルミのリサイタルに、大いなる期待を寄せずにはいられない。パイプからシンフォニックな広がりを響かせる自然な呼吸感、歌心を感じさせるテンポとハーモニーの形成感覚を持つギエルミ。バッハのみのコンサートとはいえ、曲目は前奏曲、コラール、協奏曲、フーガと多岐にわたる。名匠ギエルミがそれらをいかに豊かな響きで弾き分けるのか。芸劇バロック・オルガンの本領が発揮される。

## ナイトタイムは光と闇に包まれて

まるで宇宙に溶け込むような音楽体験とでも言おうか。ナイトタイム・パイプオルガンコンサートは、ホールの空間全体に響き渡るオルガンの音色に包まれるだけでなく、闇と光の演出が格別な時間を与えてくれる。鮮やかなライトがパイプとステージを色とりどりに照らし、時には深い海の底へ、ときには天上の眩しい世界へと私たちを導いてくれる60分のシリーズだ。来る2月25日は、劇場副オルガニストの新山恵理が演奏する。今回はN響首席フルート奏者の神田寛明と共演するというスペシャルなコンサート。バッハの「フルート・ソナタBWV1031」と、F.マルタンによる「フルートとオルガンのための教会ソナタ」は、朗々たるフルートの旋律と、温かなオルガンのハーモニーが絡み合い、聴き手に深く静かな高揚感をもたらせてくれる。また、オルガンのソロ演奏では、リストによる「バッハの名による前奏曲とフーガ」もプログラムされており、重厚かつ瞑想的な夜を過ごさせてくれるだろう。

文：飯田有抄（音楽ライター）

## ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

詳細はP13へ

2月11日(木・祝) 14:00開演 コンサートホール

オルガン：ロレンツォ・ギエルミ

J.S.バッハ／「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」BWV645

トッカータとフーガ 二短調 BWV565

協奏曲 二短調 BWV974

(原曲＝A.マルチェッロ：オーボエ協奏曲) ほか

主催：アレグロミュージック

提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



ロレンツォ・ギエルミ

©Sergio Caminata

## 東京芸術劇場

詳細はP14へ

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.13

2月25日(木) 19:30開演 コンサートホール

オルガン：新山恵理 フルード：神田寛明

マルタン／フルートとオルガンのための教会ソナタ

J.S.バッハ／フルート・ソナタ 変ホ長調 BWV1031

リスト／バッハの名による前奏曲とフーガ ほか



新山恵理



神田寛明

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）／豊島区

## お昼の30分、オルガンで異空間ヘトリップ

「ランチタイム・パイプオルガンコンサート」は、文字通りお昼時の30分間で、芸劇が誇る世界最大級のパイプオルガンの演奏を楽しめる。オフィスワークやショッピングの合間にワンコインで気楽に足を運べるが、重厚できらびやかなオルガンの響きが、非日常的な空間へといざなう。新年1月14日の公演は、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館でオルガニストを務める山本真希が登場する。オルガンの名曲中の名曲、J. S. バッハの「トッカータとフーガ 二短調 BWV 565」のほか、フランスの大家L. ヴィエルヌによる「カリヨン」と題された20世紀の作品も披露される。荘厳で華やかな音のパノラマに、圧倒的な感動を覚えるだろう。3月10日の公演は、国際コンクールで優勝を重ね活躍が目覚ましい高橋博子が出演する。オルガンのコンサートは楽器の正面に近い2階席が通好み(?)で人気だが、ランチタイムは自由席なので、あえて1階席前方などを試すのもいいだろう。降り注ぐような響きに全身が包まれ、生演奏ならではの体験ができるはずだ。

## 巨匠ギエルミが奏でるバッハの名曲集

9000本のパイプを持つ芸劇の巨大なオルガンは、無数の音色の組み合わせ（レジスト）が可能だ。奏者がどんなプログラムで、どんなレジストを駆使し、どんな呼吸感で演奏するか。そうしたポイントによってオルガン音楽の神秘的な魅力は無限大に膨張していく。そこに着目したとき、16世紀から17世紀のオルガン芸術、とりわけJ. S. バッハの作品解釈の第一人者であり、イタ

## 東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサート

## Vol.115

詳細はP11へ

1月14日(木) 12:15開演 コンサートホール

オルガン：山本真希

シャルバンティエ／『テ・デウム』より「前奏曲」

ブルーナ／第2旋法の不協和音のティエント

J.S.バッハ／トッカータとフーガ 二短調 BWV565 ほか



山本真希

## Vol.116

詳細はP15へ

3月10日(木) 12:15開演 コンサートホール

オルガン：高橋博子

J.S.バッハ／前奏曲とフーガ ホ短調 BWV548

コラール前奏曲「最愛のイエス、私達はここに集まり」BWV731 ほか

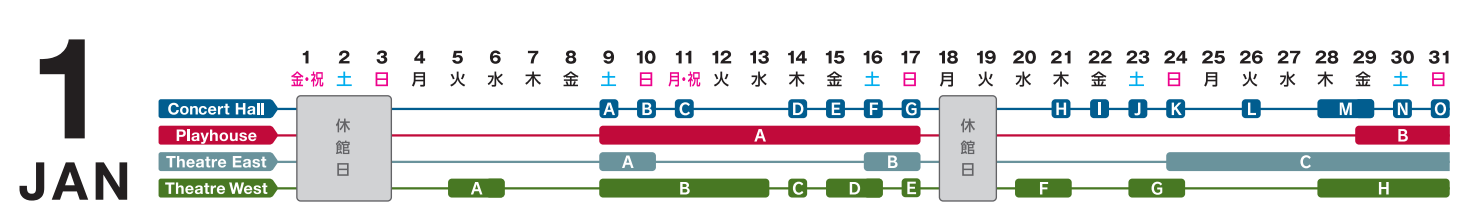


高橋博子

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

※2月4日(木)に予定しておりましたパイプオルガンコンサートVol.21は、都合により中止となりました。





Concert Hall 音楽略号:指揮 (Cond) /ソプラノ (Sop) /メゾ・ソプラノ (M.Sop) /アルト (Alt) /テノール (Ten) /バリトン (Bar) /バス (Bass) /コーラス (Chor) /フルート (Fl) /オーボエ (Ob) /クラリネット (Cl) /

A

9日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団  
第183回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 ミハエル・ボーダー (Cond) /  
グザヴィエ・ドゥ・メストレ (Hp) / 読売日本交響楽団

曲目 ワーグナー / 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲  
ヒナステラ / ハープ協奏曲  
ドヴォルザーク / 交響曲第9番 ホ短調 「新世界から」

料金 S:7,200円 / A:5,100円 / B:4,100円 / C:3,000円 /  
ジュニア:1,500円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

B

10日(日) 14:00開演

BOX

2016ニューイヤーコンサート The JADE

出演 The JADE

曲目 『Time to say goodbye』  
『祈り〜You Raise Me Up日本語バージョン』  
『手紙』  
『倅せのまわり道』  
歌劇『トゥーランドット』より『誰も寝てはならぬ』 ほか

料金 S:4,300円 / A:3,200円 ※当日は各500円増し

TEL 東京第一友の会 03-3971-9602

C

11日(月・祝) Closed・関係者のみ

2016年 としま「成人の日のつどい」

D

14日(木) 12:15開演

BOX

東京芸術劇場ランチタイム・  
パイプオルガンコンサート Vol.115

出演 山本真希 (Org)

曲目 シェルバンティエ / 『テ・デウム』より「前奏曲」  
ブルーナ / 第2旋法の不協和音のティエント  
第6旋法によるティエント『ウト・レ・ミ・ファ・ソル・ラ』  
J.S.バッハ / トッカータとフーガ ニ短調 BWV565  
ヴィエルヌ / 『24の自由な形式の小品 Op.31』より「カリヨン」

料金 【全席自由】500円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

E

15日(金) 19:00開演

G・Dream21 レディースオーケストラ・  
パフォーマンスコンサート

出演 坂本和彦 (Cond) / 木村優一 (ソプラニスタ) / G・Dream21 ほか

曲目 フィギュアスケートで使われる音楽を中心に演奏予定

料金 一般:3,000円 / 友の会:2,500円

TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

F

16日(土) 13:30開演

BOX

コカリナ20周年記念コンサート 飲びの歌

出演 黒坂黒太郎 (Cond, コカリナ) / 吉田 秀 (Cb) / 矢口周美 (うた) /  
福沢達郎 (Pf) / 安田雅司郎 (Gt) / 黒坂周吾 (和太鼓) /  
ザ・コカリナアンサンブル / 聖徳大学音楽学部合唱団 /  
渋谷区立千駄谷小学校児童有志 / 新宿区立四谷第六小学校児童有志

曲目 ベートーヴェン (福澤達郎編) / 飲びのうたファンタジー ほか

料金 S:4,500円 / A:3,500円 / B:3,000円

TEL 黒坂音楽工房 03-5626-1581

G

17日(日) 13:30開演

BOX

バッハへのオマージュ第2弾  
マタイ受難曲

出演 郡司 博 (Cond) / 畑 儀文 / 山下浩司 / 星川美保子 /  
増田弥生 / 吉田浩之 / 加藤宏隆 / 大井哲也 /  
オラトリオ・シンフォニカ JAPAN / 東京オラトリオ研究会 /  
東京ライエンコーア ほか

曲目 J.S.バッハ / マタイ受難曲

料金 S:5,000円 / A:4,000円 / B:3,000円

TEL おんがくの共同作業場 042-522-3943

H

21日(木) 19:00開演

BOX

読売日本交響楽団  
特別演奏会《究極のブルックナー》

出演 スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ (Cond) /  
読売日本交響楽団

曲目 ブルックナー / 交響曲第8番 短調

料金 S:5,500円 / A:4,500円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

I

22日(金) Closed・関係者のみ

板橋区立中学校オーケストラ鑑賞教室

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ

東京芸術劇場  
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く  
10:00～19:00

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット (Fg) / サックス (Sax) / ホルン (Hr) / トランペット (Tp) / トロンボーン (Trb) / ティンパニ (Timp) / ヴァイオリン (Vn) / ヴィオラ (Vla) / チェロ (Vc) / コントラバス (Cb) / ハープ (Hp) / ピアノ (Pf) / チェンバロ (Cemb) / オルガン (Org) / ギター (Gt)

J

23日(土) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団  
第103回定期演奏会

出演 現田茂夫 (Cond) / 三船優子 (Pf) / 東京ニューシティ管弦楽団

曲目 ベートーヴェン / 序曲『レオノーレ』第3番  
ピアノ協奏曲第3番  
ブラームス / 交響曲第3番 へ長調

料金 S:6,500円 / A:5,000円 / B:3,500円 / C:2,500円

TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

K

24日(日) 14:00開演

BOX

新交響楽団 第232回演奏会

出演 湯浅卓雄 (Cond) / 新交響楽団

曲目 芥川也寸志 / 交響曲第1番  
エルガー / 交響曲第2番

料金 S:3,000円 / A:2,500円 / B:1,500円

TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

L

26日(火) 19:00開演

BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
日本フィルハーモニー交響楽団

出演 梅田俊明 (Cond) / 宮田 大 (Vc) /  
日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 ドヴォルザーク / チェロ協奏曲  
チャイコフスキー / 交響曲第6番 口短調「悲愴」

料金 A:3,800円 / B:2,800円 / C:1,800円 /  
学生A:3,000円 / 学生B:2,200円 / 学生C:1,400円

TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

B

29日(金)～3月13日(日)

BOX

NODA・MAP 第20回公演  
「逆鱗」

作・演出 野田秀樹 出演 松 たか子 / 瑛太 / 井上真央 / 阿部サダヲ / 池田成志 / 満島真之介 / 銀粉蝶 / 野田秀樹

料金 【全席指定】S:9,800円 / A:7,800円 / サイドシート:5,500円※ / 高校生:1,000円 (事前申込制、要学生証) ※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみ、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。(入場時要証明書)

TEL NODA・MAP 03-6802-6681

M

28日(木)～29日(金)

BOX

第17回ショパン国際ピアノ・コンクール2015  
入賞者ガラ・コンサート

出演 チョ・ソンジン (Pf) / シャルル・リシャル=アムラン (Pf) /  
ケイト・リウ (Pf) / エリック・ルー (Pf) /  
イーケ・(トニー・)ヤン (Pf) / ドミトリー・シンキン (Pf) /  
ヤツェク・カスブシク (Cond) /  
ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 ほか

28日(木) 19:00開演

曲目 ショパン / アンダンテ・スピアントと華麗なる大ポロネーズ Op.22 (オーケストラ付)  
3つのマズルカ Op.56より  
第1番 口長調、第2番 八長調、第3番 八短調  
ピアノソナタ 第3番 口短調 Op.58  
ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 ほか

29日(金) 19:00開演

曲目 ショパン / 夜想曲 第13番 八短調 Op.48-1  
幻想曲 へ短調 Op.49  
ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53「英雄」  
ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11  
ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 Op.21 ほか

料金 S:13,000円 / A:10,000円 / B:8,000円 / C:6,000円 /  
D:4,000円

TEL ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040



2  
FEB



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)ノソプラノ(Sop)メゾ・ソプラノ(M.Sop)ノアルト(Alt)ノテノール(Ten)ノバリトン(Bar)ノバス(Bass)ノコーラス(Chor)ノフルート(Fl)ノオーボエ(Ob)ノクラリネット(Cl)ノ

ファゴット(Fg)ノサクソス(Sax)ノホルン(Hn)ノトランペット(Tp)ノトロンボーン(Trb)ノティンパニ(Timp)ノヴァイオリン(Vn)ノヴィオラ(Vla)ノチェロ(Vc)ノコントラバス(Cb)ノハープ(Hp)ノピアノ(Pf)ノチェンバロ(Cemb)ノオルガン(Org)

**A** 2日(火) 19:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
新日本フィルハーモニー交響楽団

出演 ジェイソン・ライ(Cond)ノ大江 馨(Vn)ノ  
新日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 メンデルスゾーンノ序曲『フィンガルの洞窟』  
ヴァイオリン協奏曲 木短調  
ベートーヴェンノ交響曲第7番 イ長調

料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円ノ  
学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円

TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**B** 5日(金) 19:00開演 BOX

第21回読響メトロポリタンシリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)ノ辻井伸行(Pf)ノ  
読売日本交響楽団

曲目 デュティユーノ音色、空間、運動  
ベートーヴェンノピアノ協奏曲第1番 ハ長調  
交響曲第6番「田園」ヘ長調

料金 S:7,200円ノA:5,100円ノB:4,100円ノC:3,000円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**C** 6日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場Presents  
クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

出演 有田正広(Cond)ノ上原彩子(フォルテピアノ)  
クラシカル・プレイヤーズ東京  
※豊嶋泰嗣(ソロ・コンサートマスター)

曲目 メンデルスゾーンノ序曲「フィンガルの洞窟」op.26  
モーツァルトノピアノ協奏曲第17番 ト長調 K.453  
メンデルスゾーンノ交響曲第3番 イ短調「スコットランド」op.56

料金 S:4,000円ノA:3,000円ノB:2,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**D** 7日(日) 14:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
東京フィルハーモニー交響楽団

出演 渡邊一正(Cond)ノイグナツ・リシェツキ(Pf)ノ  
東京フィルハーモニー交響楽団

曲目 ワーグナーノ歌劇『タンホイザー』序曲  
ショパンノピアノ協奏曲第1番  
マーラーノ交響曲第5番より「アダージェット」  
チャイコフスキーノ幻想序曲「ロメオとジュリエット」

料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円ノ  
学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円

TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**E** 11日(木・祝) 14:00開演 BOX

ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

出演 ロレンツォ・ギエルミ(Org)

曲目 J.S.バッハノ  
前奏曲、ラルゴとフーガ ハ長調 BWV545、529/2  
「装いせよ、おお、愛する魂よ」 BWV654(17のコーラル集より)  
協奏曲 二短調 BWV974(原曲 A.マルチェッロノオーボエ協奏曲)  
トリオ「主イエス・キリストよ、われらを顧みて」 BWV655  
「来ませ、造り主なる聖霊の神よ」 BWV667  
協奏曲 イ短調 BWV593  
(原曲 ヴィヴァルディノ《調和の靈感》作品3-8)  
「いざ来ませ、異邦人の救い主」 BWV659  
(18のライプツィヒ・コーラル集より)  
「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」 BWV645  
(6つのシューブラー・コーラル集より)  
「心よりわれこがれ望む」 BWV727  
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

料金 SS:6,000円ノS:5,000円ノA:4,000円ノ  
B:3,000円ノSベア・シート:9,000円ノ  
Aベア・シート:7,000円ノBベア・シート:5,000円  
※SS席はツアープログラム引換券付き  
※SS席、ベア・シートの取扱いはアレグロミュージックのみ

TEL アレグロミュージック 03-5216-7131

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場  
ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く  
10:00～19:00 BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

**H** 16日(火) 19:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
東京交響楽団

出演 沼尻竜典(Cond)ノ小林美樹(Vn)ノ東京交響楽団

曲目 ワーグナーノ楽劇『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』前奏曲  
ブルッフノヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調  
ブラームスノ交響曲第1番 ハ短調  
トリオ「主イエス・キリストよ、われらを顧みて」 BWV655

料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円  
学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円

TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**I** 20日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場コンサートオペラvol.3  
サン＝サーンスノ歌劇『サムソンとデリラ』  
フランス語全3幕 演奏会形式(日本語字幕つき)

出演 佐藤正浩(Cond)ノサムソン:ロザリオ・ラ・スピナノ  
デリラ:ミリアーナ・ニコリッチノ大司祭:甲斐栄次郎ノ  
アビメレク:ジョン・ハオノ老ヘブライ人:妻屋秀和ノ  
伝令:小笠原一規ノペリシテ人1:鈴木俊介ノ  
ペリシテ人2:井出壮志朗ノザ・オペラ・バンド(管弦楽)ノ  
武蔵野音楽大学(Chor)ノ合唱指導:横山修司

料金 S:7,000円ノA:5,500円ノB:4,000円ノC:3,000円ノD:2,000円  
※座席により字幕が見づらい場合が一部ございますがご了承ください。

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**J** 23日(火) Closed・関係者のみ

第29回中学合唱コンクール

休館日 15日(月)・22日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。  
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承ください。  
※原則未就学児のご入場はお断りしています。  
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。  
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

**K** 25日(木) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・  
パイプオルガンコンサート Vol.13

出演 新山恵理(Org)ノ神田寛明(FI)

曲目 マルタンノフルートとオルガンのための教会ソナタ  
J.S.バッハノフルート・ソナタ 変ホ長調 BWV1031  
リストノバッハの名による前奏曲とフーガ ほか

料金 【全席指定】1,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**L** 26日(金) 19:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
NHK交響楽団

出演 リオネル・ブランギエ(Cond)ノ  
アラベラ・美歩・シュタインバッハー(Vn)ノ  
NHK交響楽団

曲目 チャイコフスキーノヴァイオリン協奏曲 二長調  
ムソルグスキー(ラヴェル編)ノ組曲「展覧会の絵」

料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円ノ  
学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円

TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**M** 28日(日) Closed・関係者のみ

創価グローリア吹奏楽団 第30回定期演奏会

Playhouse

**A** ~3月13日(日) BOX

NODA・MAP 第20回公演  
「逆鱗」

作・演出 野田秀樹

出演 松 たか子ノ瑛太ノ井上真央ノ阿部サタヲノ池田成志ノ満島真之介ノ銀粉蝶ノ野田秀樹

料金 【全席指定】S:9,800円ノA:7,800円ノサイドシート:5,500円※ノ高校生:1,000円(事前申込制、要学生証)  
※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみ、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。(入場要証明書)

TEL NODA・MAP 03-6802-6681



★収録用のカメラが場内に設置されます。予めご了承ください。 ○=視覚障害者のための「舞台説明会」  
◎=聴覚障害者のための「ボータブル字幕機提供」

Theatre East

**A** ~4日(木) BOX

ハイバイ「夫婦」

作・演出 岩井秀人

出演 山内圭哉ノ岩井秀人ノ平原テツノ川面千晶ノ鄭 亜美ノ  
田村健太郎ノ高橋周平ノ猪股俊明ノ菅原永二

料金 【全席指定】一般前売(前半割):3,300円ノ  
当日(前半割):3,800円ノ前売:3,500円ノ当日:4,000円ノ  
学生:前売・当日共2,500円(受付にて要証明)ノ  
高校生:前売・当日共1,000円(前売は東京芸術劇場窓口のみ販売、要証明)

TEL ハイバイ 080-6562-4520



★=スペシャルトーク

**B** 6日(土) 17:00開演ノ19:30開演

オペラ「-NEO-」

音楽・脚本・演出 平本正宏

空間 鳴川 肇

科学監修 田中雅臣

料金 【全席指定】前売:4,500円ノ当日:5,000円

TEL サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

**C** 12日(金)~14日(日) BOX

笠井 敏「冬の旅」

構成・演出・振付・出演 笠井 敏

歌唱 高橋恭司

料金 【全席指定】前売:3,500円ノ  
当日:4,000円ノ学生:3,000円

TEL ハイウッド 03-3320-7217



**D** 19日(金)~21日(日) BOX

芸劇+トーク 朗読「東京」

演出 松村 武(カムカムミニキーナ)ノ眞鍋卓嗣(俳優座)ノ  
喜安浩平(ナイロン100℃ノブルドッキングヘッドロック)

料金 【全席指定】一般:3,000円 ほか

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**E** 24日(水)~28日(日)

Rising Tiptoe #18 模範都市

作・演出・デザイン 宇吹 萌

出演 尾川川美穂ノ高野亜沙美(A-Zojyaya)ノ鎌倉 彩ノ  
川手ゆき子ノ山田健介ノ希久地沙和(異魂)ノ中村 健 ほか

料金 【全席自由】前売:4,500円ノ当日:5,000円

TEL Real Heaven(佐藤) 03-5809-4023(11:00~19:00)



Theatre West

**A** 3日(水)~7日(日)

"STRAYDOG"Produce  
西原理恵子演劇祭2016  
「女の子ものがたり」「ぼくんち」

原作 西原理恵子 脚本・演出 森岡利行

料金 【全席指定】前売:5,000円ノ当日:5,500円

TEL ストレイドッグプロモーション 03-6672-3503



◆=「女の子ものがたり」  
★=「ぼくんち」

**B** 10日(水)~21日(日) BOX

「オーファーズ」

脚本 ライル・ケスラー

翻訳 谷 賢一

演出 宮田慶子

出演 柳下 大ノ平埜生成ノ高橋和也

料金 【全席指定】前売当日:6,800円ノ高校生以下:4,000円

TEL ワタナベエンターテインメント 03-5410-1885(平日11:00~18:00)



**C** 23日(火) 19:00開演

柳家喜多八、春風亭一之輔の二人会落語会

出演 柳家喜多八ノ春風亭一之輔

料金 【全席指定】前売当日:3,600円

TEL 夢空間 03-5785-0380



3  
MAR

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日・祝	月・休	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
Concert Hall				A	B	C				D	E	F	G				H	I	J	K	L	M		N	O		P	Q		R	
Playhouse										A								B		C	D							E			
Theatre East					A													B									C				
Theatre West					A																						C				

Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)／ソプラノ(Sop)／メゾ・ソプラノ(M.Sop)／アルト(Alt)／テノール(Ten)／バリトン(Bar)／バス(Bass)／コーラス(Chor)／フルート(Fl)／オーボエ(Ob)／クラリネット(Cl)／

**A** 4日(金) 19:00開演 BOX

第22回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 ユージン・ツィガーノ(Cond)／朴 葵矩(Gt)／読売日本交響楽団  
曲目 ビゼー／『カルメン』組曲から  
ファリャ／『三角帽子』第2組曲  
ロドリーゴ／アランフェス協奏曲  
ラヴェル／ボレロ  
料金 S:7,200円／A:5,100円／B:4,100円／C:3,000円  
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**B** 5日(土) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団  
「作曲家の肖像」シリーズVol.106 <日本>

出演 大野和士(Cond)／幸田浩子(Sop)\*／宮本益光(Bar)\*／東京都交響楽団  
曲目 武満 徹／冬(1971)  
柴田南雄／遊楽no.54(1977)  
池辺晋一郎／交響曲第9番(2013)\*  
料金 S:5,800円／A:4,800円／B:3,800円／C:2,800円／Ex:2,000円  
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

**C** 6日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
第185回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 ユージン・ツィガーノ(Cond)／朴 葵矩(Gt)／読売日本交響楽団  
曲目 ビゼー／『カルメン』組曲から  
ファリャ／『三角帽子』第2組曲  
ロドリーゴ／アランフェス協奏曲  
ラヴェル／ボレロ  
料金 S:7,200円／A:5,100円／B:4,100円／C:3,000円／ジュニア:1,500円  
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**D** 10日(木) 12:15開演 BOX

東京芸術劇場ランチタイム・  
パイプオルガンコンサートVol.116

出演 高橋博子(Org) 料金【全席自由】500円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**E** 11日(金) 18:30開演 BOX

聖トーマス教会合唱団&ゲヴァントハウス管弦楽団  
J.S.バッハ「マタイ受難曲」

出演 ゴットホルト・シュヴァルツ(Cond)／シビリア・ルーベンス(Sop)／マリー=クロード・シャビュイ(Alt)／ベンジャミン・ブルンス(福音史家(Ten)／マルティン・ベッツォルト(Ten)／クラウス・ヘーガー(キリスト(Bass)／フローリアン・ベッシュ(Bass)／聖トーマス教会合唱団／ゲヴァントハウス管弦楽団  
曲目 J.S.バッハ／マタイ受難曲  
料金 S:15,000円／A:12,000円／B:9,000円／C:7,000円／D:5,000円  
TEL ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

**F** 12日(土) 15:00開演 BOX

芸劇ウインド・オーケストラ 第2回演奏会

出演 秋山和慶(Cond)／芸劇ウインド・オーケストラ(吹奏楽)  
曲目 バレス(建部知弘編)／序曲「リシルド」  
パーシケッティ／バンドのためのティベルティメント  
長生 淳／委嘱作品(世界初演)  
ヒンデミット／吹奏楽のための交響曲 変口調  
リード／アルメニアン・ダンス パート1  
料金 【全席自由】2,000円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**G** 13日(日) 14:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
東京都交響楽団

出演 大友直人(Cond)／ミロ斯拉・クルティシェフ(Pf)／東京都交響楽団  
曲目 チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番 変口短調、交響曲第5番 木短調  
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／学生A:3,000円／学生B:2,200円／学生C:1,400円  
TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**H** 16日(水) 19:00開演 BOX

早稲田大学交響楽団 第198回定期演奏会

出演 田中雅彦(Cond)／早稲田大学交響楽団  
曲目 モーツァルト／交響曲第36番 八長調「リンツ」  
カバレフスキー／組曲『道化師』より抜粋  
ブラームス／交響曲第1番 木短調  
料金 S:3,500円／A:3,000円／B:2,500円  
TEL 早稲田大学交響楽団 03-3204-3585

**I** 17日(木) 19:00開演 BOX

東京・春・音楽祭-東京のオペラの森2016- 日伊修好150周年記念公演  
リッカルド・ムーティ指揮  
日伊国交樹立150周年記念オーケストラ

出演 リッカルド・ムーティ(Cond)／イルダール・アブドラザコフ(Bass)／日伊国交樹立150周年記念オーケストラ  
東京オペラシンガーズ／東京少年少女合唱隊 ほか  
曲目 ヴェルティ／歌劇『ナブッコ』序曲  
歌劇『マクベス』第3幕より「舞曲」  
歌劇『第一回十字軍のロンバルディア人』第3幕より「エルサレムへ、エルサレムへ」  
ポイト／歌劇『メフィストフェレ』プロローグ  
料金 S:18,500円／A:14,400円／B:10,300円／C:7,200円／D:5,200円／E:3,100円  
TEL 東京春祭チケットサービス 03-3322-9966(チケット関係) 東京・春・音楽祭実行委員会 03-5205-6497(公演関係)

**J** 18日(金) 18:30開演

慶應義塾高等学校・女子高等学校  
ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ  
第56回定期演奏会

出演 原田圭介(Cond)／慶應義塾高等学校・女子高等学校ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ  
曲目 ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」  
チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」  
交響曲第6番 口短調「悲愴」  
料金 S:700円／A:500円  
問合せ 慶應義塾高等学校・女子高等学校ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ wagner20160318@outlook.com

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場  
ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く 10:00～19:00  
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット(Fg)／サクソス(Sax)／ホルン(Hn)／トランペット(Tp)／トロンボーン(Trb)／ティンパニ(Timp)／ヴァイオリン(Vn)／ヴィオラ(Vla)／チェロ(Vc)／コントラバス(Cb)／ハープ(Hp)／ピアノ(Pf)／チェンバロ(Cemb)／オルガン(Org)／ギター(Gt)

**K** 19日(土) 14:00開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団  
第104回定期演奏会

出演 秋山和慶(Cond)／松山 萌(Tp)／東京ニューシティ管弦楽団  
曲目 ベートーヴェン／劇音楽「エグモント」序曲  
ハイドン／トランペット協奏曲 変木短調  
ブラームス／交響曲第4番 木短調  
料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円  
TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

**L** 20日(日・祝) 14:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
読売日本交響楽団

出演 下野竜也(Cond)／小山実稚恵(Pf)／読売日本交響楽団  
曲目 ベートーヴェン／付随音楽「アテネの廃墟」<序曲>  
ピアノ協奏曲第4番 ト長調  
交響曲第5番「運命」 木短調  
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／学生A:3,000円／学生B:2,200円／学生C:1,400円  
TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**M** 21日(月・休) 14:00開演

合唱団 鯨 第68回定期演奏会

出演 黒岩英臣(Cond)／大隅智佳子(Sop)／柚友恵子(Alt)／与儀 巧(Ten)／鹿又 透(Bar)／クラインスコンツェルトハウス管弦楽団／合唱団 鯨  
曲目 ドヴォルザーク／スターバート・マーテル  
料金 S:4,500円／A:3,500円／B:2,500円／学生・車椅子:1,000円  
TEL 合唱団 鯨(高橋) 03-3998-9050

**N** 23日(水) 19:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

出演 高関 健(Cond)／山元香那子(Pf)／東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
曲目 モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番 八長調  
ブルクナー／交響曲第4番 変木長調「ロマンティック」  
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／学生A:3,000円／学生B:2,200円／学生C:1,400円  
TEL 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**O** 24日(木) 18:30開演 無 料

立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部  
第18回定期演奏会

出演 西澤宏佳(Cond)／立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部  
曲目 ウィリアムズ／スターウォーズ  
ガーシェウィン／3つの前奏曲  
ホルスト／組曲『惑星』より「火星」 ほか  
料金 【全席指定】無料(要事前問合せ)  
問合せ 立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部 rikkyo.wo@live.jp

**P** 26日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場&ミュースザ川崎シンフォニーホール共同企画  
第5回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

出演 尾高忠明(Cond)管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ(首都圏9音楽大学選抜オーケストラ)  
参加音楽大学 上野学園大学／国立音楽大学／昭和音楽大学／洗足学園音楽大学／東京音楽大学／東京藝術大学／東邦音楽大学／桐朋学園大学／武蔵野音楽大学  
曲目 チャイコフスキー／交響曲第5番 木短調  
ショスタコヴィチ／交響曲第5番 二短調  
料金 S:2,000円／A:1,500円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Playhouse

**A** ~3月13日(日) BOX

NODA・MAP 第20回公演  
「逆鱗」

作・演出 野田秀樹 出演 松 たか子／瑛太／井上真央／阿部サダヲ／池田成志／満島真之介／銀粉蝶／野田秀樹  
料金 【全席指定】S:9,800円／A:7,800円／サイドシート:5,500円※／高校生:1,000円(事前申込制、要学生証)  
※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみ、サイドシート3,000円にてご購入いただけます。(入場時要証明書)  
TEL NODA・MAP 03-6802-6681

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00		●					●						●
16:00	●	●	●	●	●	●	休	演	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●							

**B** 17日(木)~18日(金) 19:00開演 BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
「現代舞踊公演」

作 柳下規夫／山本 裕／能美健志  
料金 【全席指定】4,000円  
TEL 現代舞踊協会 03-5457-7731

3月	16	17	18	19	20	21
	水	木	金	土	日	月
14:00				●	★	●
19:00	●	★	●	●	●	●
★=アフタートークあり						

**B** 16日(水)~21日(月・休) BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演 日越国際協働制作公演  
江戸糸あやつり人形結城座×ベトナム青年劇場「野鴨中毒」

原作 ヘンリック・イブセン 脚本演出 坂手洋二 出演 レ・カイン(ベトナム青年劇場)／結城孫三郎 ほか  
料金 【全席指定】一般:5,500円／U-25・Vチケット(日本在住ベトナム人の方):2,500円  
TEL 江戸糸あやつり人形 結城座 042-322-9750

Theatre East

**A** 3日(木)~6日(日)

東日本大震災5周年特別舞台公演  
「RADIO311」

脚本・演出 梶原涼晴  
料金 【全席指定】前売:4,500円／当日:4,800円  
TEL 合同会社ドリームシーズ 03-6383-4770

3月	3	4	5	6
	木	金	土	日
12:00			●	●
14:00	●	●		
16:00			●	●
19:00	●	●	●	●

Theatre West

**A** 1日(火)~6日(日) BOX

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
「紫」

原作 松下竜一 脚本・演出 東 恵司 出演 村井國夫／藤田弓子／カゴシマジロー／浅井伸治／滝沢花野  
料金 【全席指定】前売:4,500円／当日:5,000円／シニア:4,000円／U-25:2,500円  
TEL トム・プロジェクト 03-5371-1153

3月	1	2	3	4	5	6
	火	水	木	金	土	日
14:00		●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●

**B** 11日(金)~21日(月・休)

「三婆」

出演 佐々木 愛／有賀ひろみ／阿部敦子 ほか  
料金 【全席指定】前売:5,500円  
TEL 文化座 03-3828-2216

3月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
14:00		●	●	休	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

**C** 19日(土)~20日(日・祝) 13:00開演 無 料

2016都民芸術フェスティバル 参加公演  
「第47回東京都民俗芸能大会 -道の芸・街角の芸-」

料金 入場無料(事前予約)  
TEL 東京都民俗芸能会実行委員会事務局(SAPIA) 03-5226-7830

**C** 25日(金)~31日(木)

ニューミュージカル「Color of Life」

脚本・作詞・演出 石丸さち子 作曲・編曲 伊藤晴浩  
出演 〈First Cast〉上口耕平×AKANE LIV  
〈New Cast〉鈴木勝吾×はねゆり  
料金 【全席自由】前売当日:8,500円 TEL 東京音協 03-5774-3030(平日11:00~17:00)

3月	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木
13:00		N	N				
14:00				F	F	F	N
17:30		F	F				
18:00							F
19:00	F			F	N	F	
F=First Cast N=New Cast							

休館日 14日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。  
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承ください。  
※原則未就学児のご入場はお断りしています。  
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。  
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

**Q** 27日(日) 12:30開演／16:00開演 BOX

第12回 子どもたちと芸術家が出あう街2016  
魔法のオーケストラ

出演 宮川彬良(Cond)／三輪亜希子(振付・ダンサー)／新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか  
曲目 大発見マーチ  
ブラームス／ハンガリー舞曲第5番  
ビエロの手品メドレー  
ボール・モーリア／オリーブの首飾り  
ロッシニ／ウィリアムテル序曲  
チャイコフスキー／白鳥の湖  
クラリネットを壊しちゃった  
チャイコフスキー／「くるみ割り人形」より「花のワルツ」  
ベートーヴェン／エリーゼのために  
ショパン／英雄ポロネーズ  
マックスウェル／ひき湖  
ブルグミュラー／アラベスク  
ハチャトゥリアン／剣の舞  
ビゼー／『アルルの女』より「ファランドール」  
料金 【全席指定】2,000円／ひざ上親子席:2,500円(枚数限定)  
TEL 新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815

**R** 30日(水) 11:30開演／13:30開演 BOX

芸劇&読響  
0才から聴こう!! 春休みコンサート  
“春が来た! キラキラわくわくオーケストラ”

出演 梅田俊明(Cond)／中井美穂(ナビゲーター)／二瓶真悠(Vn)／読売日本交響楽団  
曲目 ビゼー／「カルメン」前奏曲  
サラサーテ／ツィゴネルワイゼン  
ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」 ほか  
料金 S:3,500円／A:2,500円／こども(3才以上小学生まで):1,000円(S席・A席共通)  
※0才から入場できます。2才未満で保護者の膝上の場合は無料。  
(ただし保護者1名につき子供1名まで。)座席を必要とする場合は、全て有料となります。  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**E** 25日(金)~4月3日(日)

KREVAの新しい音楽劇  
「最高はひとつじゃない」

作・演出 野村昌史／町田誠也  
音楽監督 KREVA  
出演 KREVA ほか  
TEL サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

3・4月	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
12:00		●							●	
13:30				●	●	●	●			
17:00	●							●	●	
18:30	●							●	●	



1・2・3

JAN FEB MAR

東京芸術劇場ホームページ [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

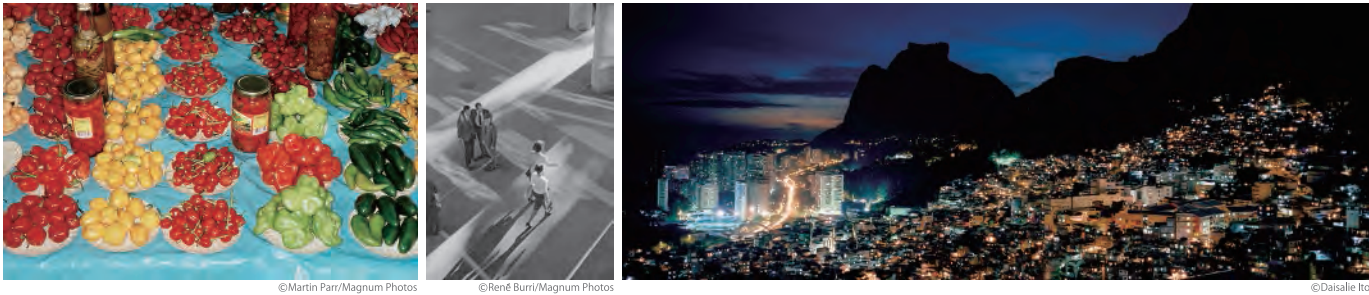
お問合せ 東京芸術劇場  
ボックスオフィス 0570-010-296

休館日を除く  
10:00～19:00

Gallery 1 (5F)		
1	4日(月)～7日(木) 静書会書道展 TEL 高橋 03-3358-4786	8日(金)～11日(月・祝) 加藤堆繁書展 TEL 加藤 080-5672-1168
2	24日(水)～28日(日) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学卒業制作展 TEL 尚美学園大学 卒業2016実行委員会 049-246-2700	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 同時開催 東京都特別支援学校 第24回総合文化祭展示部門展覧会 TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111 (内線:53-726)
3	1日(火)～13日(日) Gallery 1・2 同時開催 日本の海岸線をゆくー日本人と海の文化 TEL 公益社団法人 日本写真家協会 03-3265-7451 料金 一般:800円	16日(水)～19日(土) Gallery 1・2 同時開催 小関鈴子アトリエ 第4回 La clochette作品展 TEL La clochette 03-3368-5586(平日10:00～18:00)
1	8日(金)～11日(月・祝) 東京学芸大学書学ゼミ 創立15年記念書作展 TEL 永田 090-6505-6242	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 同時開催 東京都特別支援学校 第24回総合文化祭展示部門展覧会 TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111 (内線:53-726)
2	11日(木・祝)～14日(日) Find TEL 鈴木 090-4366-7061	18日(木)～21日(日) Gallery 2 Atelier East・West同時開催 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科 第11回卒業プロジェクト2016作品展 TEL 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科スタッフルーム 042-739-8119
3	1日(火)～13日(日) Gallery 1・2 同時開催 日本の海岸線をゆくー日本人と海の文化 TEL 公益社団法人 日本写真家協会 03-3265-7451 料金 一般:800円	16日(水)～19日(土) Gallery 1・2 同時開催 小関鈴子アトリエ 第4回 La clochette作品展 TEL La clochette 03-3368-5586(平日10:00～18:00)
Atelier East (B1F)		
1	20日(水)～25日(月) 第23回 翠耀会展(日本画) TEL 福島 03-3919-8138	30日(土)～31日(日) ジクナシハラッパ はじまりの展示公演「遠くの雨」 TEL 津田 090-3437-1417 料金 一部有料
2	4日(木)～8日(月) 大東文化大学美術部 桐美展 TEL 相馬 080-2041-5802	9日(火)～14日(日) ギャラリー大作戦8 ～アレが、アレで～ TEL 小関 090-2167-8152
3	6日(日)～9日(水) 第30回 金曜会 絵画展 TEL 小笠原 090-7905-2120	10日(木)～13日(日) 第6回 雑司ヶ谷デジカメクラブ作品展 TEL 上條 03-3918-3282
1	8日(金)～11日(月・祝) グループ恵展 第39回展 TEL 大野 080-2007-9041	23日(土)～30日(土) 東京朝鮮中高級学校 美術部展 変わる 変える TEL 崔 090-2940-9491
2	4日(木)～8日(月) 東京地下鉄観光会写真部展 「My写真館11」 TEL 内村 080-5536-4205	18日(木)～21日(日) Gallery 2 Atelier East・West同時開催 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科 第11回卒業プロジェクト2016作品展 TEL 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科スタッフルーム 042-739-8119
3	1日(火)～6日(日) フランス刺しゅう あじさい TEL 高島 03-3932-9484	8日(火)～13日(日) 平成27年度 東京空襲資料展 TEL 東京都生活文化局 文化振興部文化事業課記念行事係 芦田 03-5388-3141
	17日(木)～28日(月) Atelier East・West同時開催 リオデジャネイロ写真展 Rio de Janeiro“Various eyes” TEL 東京芸術劇場 事業企画課 事業調整係 03-5391-2116	30日(水)～4月4日(月) 第43回 伊藤嘉朔賞 ファイナリスト 舞台美術展 TEL 日本舞台美術家協会 03-6300-9104

リオデジャネイロ写真展+イベント Rio de Janeiro “Various eyes” 無 料

3月17日(木)～28日(月) アトリエイースト／アトリエウエスト 詳細はHPへ



世界でもっとも有名な写真家集団がとらえた「リオデジャネイロ」と、  
現在リオのファベールで暮らす写真家が撮る「リオデジャネイロ」

東京芸術劇場では、2016年3月、オリンピック・パラリンピック開催を控えるタイミングで、世界文化遺産都市“リオデジャネイロ”にフォーカスした企画展を実施します。

本企画は、カーニバル、ポサノヴァなどの文化に加え、イパネマ・コパカバーナ海岸などフォトジェニックで多彩な色気を持ち、文化と自然との共存が生み出す魅力溢れる世界文化遺産都市・リオデジャネイロを、写真・音楽・レクチャーなどを通して伝えると同時に、都市と我々の関係性を再考する

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区

森山大道写真展 Daido Moriyama Photo Exhibition 有 料

1月23日(土)～2月20日(土) ギャラリー1 ※2月15日(月)休館日をのぞく 詳細はHPへ



「通過者の視線」より

「写真とは何か」を問い、撮り続ける

森山大道は1964年のデビューから現在に到るまで、日本を代表する写真家として国内外の注目を集めています。本展は、1980年代に森山が写真に対する新境地を開いた『光と影』、印刷物の拡大によってイメージを広げる『網目の世界』、池袋・新宿を中心とした撮り下ろしを含む『通過者の視線』の三部構成で、森山大道の世界を体感できる写真展です。

【料金】600円(中学生以下無料)

【お問合せ】としま未来文化財団(みらい文化課まちの魅力づくりセクション) 03-3981-4732(平日8:30～17:15)  
<http://www.toshima-mirai.jp/>

主催・公益財団法人としま未来文化財団・豊島区 共催・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

バレンタイン・ファンタジー池袋 無 料

2月1日(月)～14日(日) 池袋西口および東口エリア 詳細はHPへ



世界中で「愛の日」として知られ、祝われている「バレンタイン・デー」。池袋では、国際アートカルチャー都市として、国境や世代を超えて親しまれている、この愛の聖なる日「バレンタイン」を祝うさまざまなイベントを西口、東口が一体となり展開し、世界に発信していきます。

【お問合せ】バレンタイン・ファンタジー池袋事務局 050-1324-3524

主催:バレンタイン・ファンタジー実行委員会  
共催:ストラスブール市・豊島区・豊島区観光協会  
東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)等

第12回子どもたちと芸術家の出あう街2016「一日だけの魔法学校」 有 料

3月27日(日) コンサートホール、ミーティングルーム・リハーサルルーム 詳細はHPへ



©M.Okubo

毎年恒例の「子どもたちと芸術家の出あう街」。今回は“魔法”をテーマに様々なイベントを実施します。メインとなるのは、音楽とバントマイムでくり上げられる、宮川彬良さんの『魔法のオーケストラ』。0歳から入場可能な約50分のコンサートです。大人になってからわかることがたくさんある一。その時のために、感動の種まきを。

【お問合せ】新日本フィル事務局 03-5610-3820

主催:東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団／子どもたちと芸術家の出あう街実行委員会





芸術監督  
野田秀樹

いつか、愛ある手垢のついた劇場に。

## 東京芸術劇場開館25周年を迎えて

25th Anniversary  
東京芸術劇場  
Tokyo Metropolitan Theatre



### 2009年から芸術監督に就任。

第一線を走り続ける現場感覚と国際感覚、芸術への深い造詣から生まれる数々の提案は、東京芸術劇場の印象を明らかに変えている。

#### 潜在的な観客との出会いの場へ

芸術監督に就任することになって、何人もの知り合いに、東京芸術劇場についてどう思うかリサーチしました。結果は残念ながら「使いたい」「観に行きたい」という声がほとんど聞かれないものでした。まずは「使いたい」「観に行きたい」と思ってくれる人を増やすこと。就任会見で「賑わいと彩りのある劇場」にしたいと言ったのはそのためです。

2011年春から大規模な改築工事があり、1年半という長い休館期間がありました。その甲斐あって、より使いやすい、また、観やすい劇場になったと思います。僕は主に演劇の仕事をしていますので、改修前のコンサートホールについてはあまりわかりませんが、現在はプレイハウスと呼ばれている中ホールは、集中力のない空間でした。横に長く、なぜか中央に柵のない通路がドンと広がっていて、演者側からするとどこを観ていいかわからないつくりで、非常にやりにくかったんですが、両側の床を少し高くし、中央の通路も狭くするなど、かなり改善されました。他のホールも、完璧ではありませんが、いろいろと工夫してもらいました。

ソフトに関しては、いわゆる貸し出し専門ようになっていたこの劇場に発信機能を持たせたいと、外部識者による企画会議をつくったことが良かったと思います。今年亡くなられた演劇評論家の扇田昭彦さんもそのおひとりでしたが、前向きで、同時に、ある意味とても趣味が偏っている人達が集まった。一方向では困りますが、さまざまな方向に偏っているので、なかなかおもしろいことになっています。劇場が扱うのは芸術ですから、バランスが取れているだけで熱のないものがいくら出てきてもつまらない。多少いびつでも、熱のあるものを発信していくことが大事だと思っています。

この6年間で特に印象に残っているのは、2011年3月の東日本大震災です。NODA・MAPの「南へ」を中ホールで公演中で、直後は休演せざるを得なかった。それでも3日目くらいから上演を再開したいと話をし、3月15日からなんとか再び幕を開けることができました。余震もあり、計画停電も行なわれていて、またその頃には原発事故による風評などで動揺も広がっていましたが、カンパニーは——内心は不安な人もいたかもしれませんが——、全員

が「やります」と言ってくれました。そういう時に来てくださるお客さんは、やはり覚悟のようなものがあって、特に15日の公演は、実際にそういう経験はしたことがないんですが、まるで戦時下で演劇をやっているような緊張感がありました。節電や安全を優先するべきという意見も聞こえていましたが、過剰な自主規制によって「今は演劇などを観ている場合ではない」という空気が蔓延して、劇場の灯が消えるのは絶対に良くないと思ったのです。

今後について言えば、理想のイメージはあります。例えばリニューアルする前の歌舞伎座の奈落は、かつては人力でセリを動かしていましたから、柱などが数えきれない人の手垢で汚れているんですけども、歌舞伎を好きだった人達が長い時間をかけて遺してきた魅力がありました。新宿の紀伊國屋ホールも、この劇場は使った人にも観にきた人にも愛されてきたんだという確かな風合いが染み付いています。それが劇場が持つ本当の力であり姿だと僕は思う。そういう味わいが、東京芸術劇場にも生まれたいいいですね。自分自身にも課題はあって、素晴らしい人達に東京芸術劇場で公演をしてもらっているのに、海外での仕事などもあるため、なかなか自分の目でその公演を観ることができない。この劇場で公演をしてくれた人達とも、もっと交流を持ちたいですね。

最近の芸劇は、公演を観にくる人だけでなく、多くの人が集まり、行き来する場所になってきていると思います。先日、東京オリンピックに向けた『東京キャラバン』というイベントを駒沢公園で行いましたが、演劇やパフォーマンスや音楽に興味のある人は、まだまだ潜在的にいます。そういう人達がここで芸術に出会い、愛着を持って通ってくれるようになれば、劇場として新しい可能性が生まれるのではないのでしょうか。

2015年・秋  
聞き手・構成：徳永京子 写真：渡部孝弘（左ページ）

#### 野田秀樹 HIDEKI NODA

のだ・ひでき 1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授、東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来「キル」『赤鬼』『バンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』などの話題作を発表。歌舞伎「野田版 研辰の討たれ」などで、故中村勘三郎丈と組む、好評を博した。国内のみならず海外でも精力的な創作活動を展開。15年11月、モーツァルト歌劇『フィガロの結婚〜庭師は見た！〜』を演出、全国10カ所でも上演。16年1月〜4月NODA・MAP最新作「逆鱗」を上演予定。

NODA・MAP 第20回公演「逆鱗」 作・演出 野田秀樹  
www.nodamap.com/

特集はP1へ



## 25th Anniversary Report



## ここから未来へ 東京芸術劇場開館25周年記念コンサート ジョワ・ド・ヴィーヴル ―生きる喜び 2015.11.1sun

11月1日(日)、東京芸術劇場の25周年を記念して、これまでにないユニークなコンサートを開催しました。

はじめはマティスの1枚の絵「ジョワ・ド・ヴィーヴル(生きる喜び)」でした。喜びと生命のエネルギーにあふれたこの絵画を、今回アーティストック・ディレクターをお願いした30代の指揮者・鍵盤奏者の鈴木優人さんにお見せし、そこから自由に発想していただきました。何度も鈴木さんと話し合いを重ね、最終的に「祈り」「希望」「愛」の3部構成、のべ3時間半の作品に仕上がりました。

第1部「祈り」では、ルネサンスから現代までの700年に及ぶ年月から祈りの音楽14曲をピックアップし、合唱とダンスとパイプオルガン(芸劇ならではの3種類のパイプオルガンをフル稼働)、ポジティブオルガン、そして場面ごとに繊細に変化する照明によって表現しました。曲ごとに拍手が入るのではなく、連続したひとつの舞台作品として、クラシックコンサートのイメージとはかけ離れた、最先端の舞台芸術のような斬新さにあふれたコンサートとなり、心揺さぶられ洗い浄められる濃密な時空にお客様を引き込みました。

第2部前半の「希望」では、芸劇がこの1年間ワークショップやレッスンを繰

り返し養成してきた若者たちによる芸劇ウインド・オーケストラが登場。新時代の作曲家 小出稚子さんのみずみずしい小品「玉虫ノスタルジア」とストラヴィンスキーの「火の鳥」で、“思春期サウンド”が炸裂。

第2部後半の「愛」では、東京交響楽団が20世紀を代表する作曲家メシアンの愛を謳いあげた壮大な作品「トゥーランガリーラ交響曲」を熱演。大団円を迎えました。

東京芸術劇場が人々に生きる喜びやエネルギーをあたえる場でありたい、そんな願いを私たちはこのコンサートにこめました。それは同時に、クラシックのコンサートが今後どのような可能性を持ち得るのかを試みるチャレンジでもあったわけですが、ここから大きな手応えを感じることができました。

東京芸術劇場はまだまだ25歳、青春真っただ中です。これからも未来に向けて、さまざまなチャレンジを続けていきたいと考えています。どうぞご期待ください!

文:鈴木順子(東京芸術劇場コンサートホール・ジェネラルマネージャー)  
Photo:Hikaru.☆

### 公演直後に、アーティストック・ディレクターを務めた鈴木優人氏にお話をうかがいました。



©Marco Borggreve

まさに生きる喜びを実感しました。ホールそのもの、お客様、スタッフ、大勢の皆さまからの温かい励ましを感じながらステージに立つことができました。このようにみんなで一丸となって成し遂げられたということが、一番うれしいところです。内容としては非常に実験的かつ、挑戦的なプログラムでしたので、この公演が「新しいことにどんどんトライしていく」「自らメッセージを発信していく」という、今後の芸劇の劇場としてのスタンスを示す布石にもなったのではないかと思います。いろいろな意味で、奇跡的な一日でした。



開館25周年レセプションにて、荻田伍館長の挨拶

### 第1部「祈り」 指揮、ポジティブ・オルガン:鈴木優人 オルガン:石丸由佳▲ ダンス:小尻健太 合唱:パッハ・コレギウム・ジャパン▲▲

鈴木優人/《アポカリプス II》(抜粋)▲▲  
N.de.グリーニ/讃歌《来たれ、創り主なる聖霊よ(ヴェニ・クレアトル)》より  
(テノール声部の定旋律による5声のブラン・ジュ)▲  
G.de.マジョー/モテト《よき羊飼ひ》▲▲

G.S.リゲティ/《オルガンのための二つの習作》より「クレ」▲  
A.ベルト/《主よ平和を与えたまえ》▲▲  
J.S.パッハ/モテト《私はあなたを離しません》BWV Anh.159▲▲  
J.アラン/《連弾》▲

W.A.モーツァルト/《アヴェ・ヴェルム・コルプス》KV618▲▲  
J.P.スウェーリンク/《涙のパヴァーヌ》SwWV328▲  
D.ラング/《愛は強いから》▲▲  
J.S.パッハ/《我ら苦難の極みにあるときも》BWV641▲

### 第2部「希望と愛」 指揮:鈴木優人 ピアノ:児玉桃\* オンド・マルトノ:原田 節\* 吹奏楽:芸劇ウインド・オーケストラ\*\* 管弦楽:東京交響楽団\*

小出稚子/ウィンド・アンサンブルのための《玉虫ノスタルジア》(パリトンサクソフォン版 世界初演)\*\* I.ストラヴィンスキー(R.アールズ編曲)/組曲《火の鳥》吹奏楽版全曲(1919 年版)\*\*  
O.メシアン/《トゥーランガリーラ交響曲》全曲\*

## I N F O R M A T I O N

鑑賞サポート 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス 【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296  
(無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

1〜3月 対象公演 NODA・MAP 第20回公演 「逆鱗」 「ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.13」(2月25日)  
「ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.115」(1月14日) 「ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.116」(3月10日)



スタッフ募集中! 私たちと一緒に東京芸術劇場で働きましょう! 詳しくはお問い合わせください。

Votre

株式会社ヴォートル

〒156-0043 東京都世田谷区松原3-40-7 Pine Field Bldg. 4F  
TEL 03-5355-1277 http://www.votre.co.jp

詳しい求人情報はウェブで

ヴォートル 求人

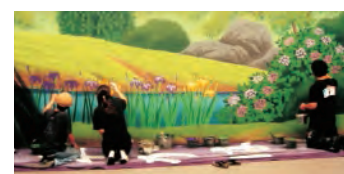
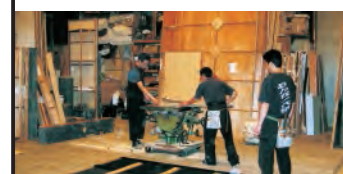
検索

## 伝統に裏付けられた確かな技術――



# 明治座舞台株式会社

舞台道具の製作や、東京芸術劇場ほかの舞台  
管理業務受託など、これからも皆様に多彩な  
舞台と新たな感動を提供し続けて参ります。



一般建設業 東京都知事 許可 (般-22) 第135048号  
特定労働者派遣事業 特13-314311

お問い合わせ先 ☎03(3660) 3919

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号